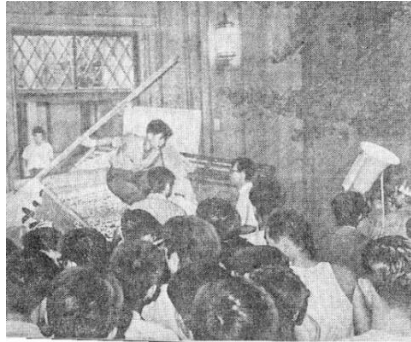


1964

07/02

- ・早大で全学自治会協議会の学生 60 人に中核派の法大、横浜国大などの学生 80 人がヘルメット、こん棒をかざして殴りこみ。大乱闘となり乱入側の前全学連書記長をはじめ 13 人が負傷。警視庁は機動隊 350 人を出動させ、法大生 1 人を逮捕。



07/03

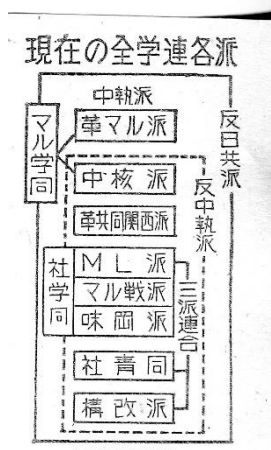
- ・内閣の憲法調査会(高柳賢三会長)、131 回総会で最終報告書を決定、内閣に提出。社会党、民社党など各党は一斉に反発。
- ・憲法擁護国民会議、「護憲アピール 10 人委員会」の設立を発表。
朝比奈宗源(円覚寺管長)、植村環(YWCA 会長) 海野晋吉(弁護士)、遠藤三郎(元陸軍中将)、大内兵衛(元法大総長)、上代たの(日本女子大学長)、宮沢俊義(立大教授)、湯川秀樹(京大教授)、笠信太郎(評論家)、片山哲(憲法擁護国民会議議長)
- ・清水谷公園で「憲法調査会答申粉碎統一集会」。750 人が参加。中核、革マル、社学同などが前夜の早大での乱闘を引きずり、集会は混乱したが、統一デモに移り、機動隊 600 人と衝突。夜に入り夜学連 150 人もデモ。

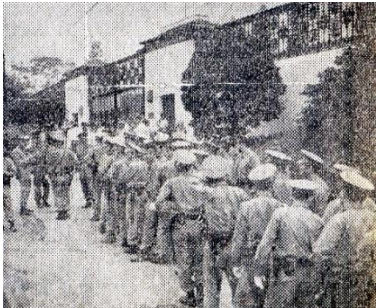


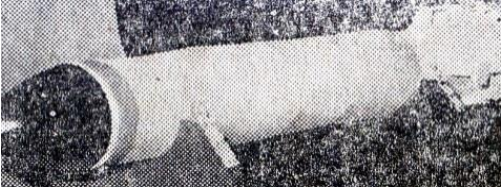
- ・芝公園で護憲連合「憲法改悪阻止、調査会答申反対全国統一行動中央抗議集会」
1000 人が参加。社青同学生 200 人がジクザグデモを行い 1 人逮捕。解散後も逮捕に抗議して 150 人が警視庁にデモ。

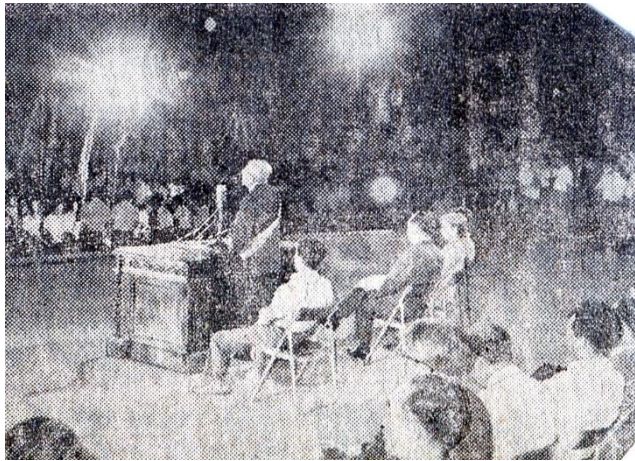
07/04

- ・警視庁、早大構内乱闘事件で法大経済学部自治会室などを搜索。元全学連書記長ら 2 人を逮捕。

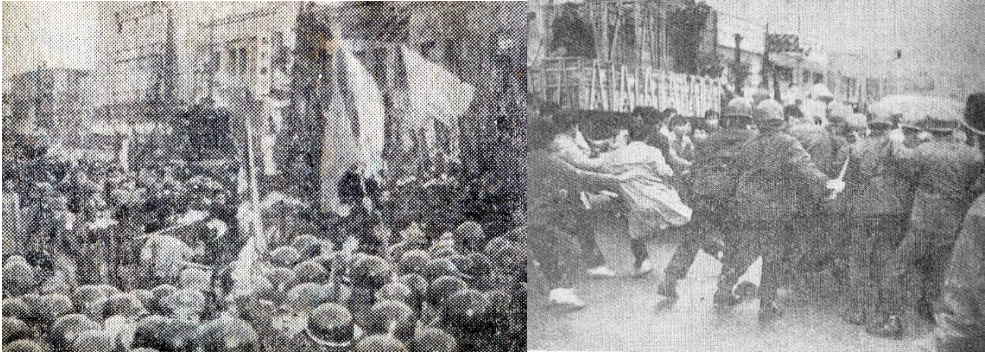
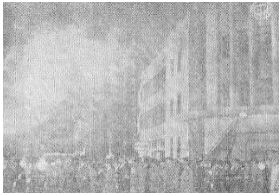


07/10	・自民党大会で池田隼人総裁を三選。
08/02	・大阪市東区で三菱長崎造船社研、全電通労研、革共同全国委、関西共産同、京都府学連ら主催「全国労働者学生集会」。1600人(主催者発表)が参加。ジグザグデモで警官隊 500 人と衝突。双方で 50 人以上の重軽傷者を出す。 ・全学連反主流派の全国大学自治会代表者会議(全学連主流派と日共系の平民学連を除いた連合組織)、京都で米ソ核実験反対、中仏核実験準備反対集会。
08/03	・京都で全国大学自治会代表者会議。50 大学 1000 人以上が参加。12 月中に全学連を再建することを決定。
08/26	・政府は米原子力潜水艦の日本寄港承認の方針を決定。 ・総評幹事会、米原潜寄港反対運動の強化を指令。 1. 28 日、佐世保で 2000 人動員の市民集会 2. 横須賀で 10 日日間署名活動 3. 9.3 日比谷で 1 万人動員の抗議集会 ・日本原子力研究所労組、米原潜寄港に反対声明。
08/27	・社会党中執、米原潜寄港問題で議員に上京指令。自民党に党首会談を申し入れたが拒絶される。  ・社会党河上委員長らが東京駅八重洲、新橋などで米原潜寄港反対のピウまき。 
08/28	・政府は閣議で米原子力潜水艦の日本寄港を正式に同意。 1. 米原潜は過去数年間、海外 10 数力国の 30 港に 100 回以上寄港しており、その安全性については原子力委員会の見解も聞いて確信を得た。 2. 寄港を予定しているのはボラリス型の潜水艦でなく、単に原子力を推進力にしているに過ぎない。従って核を日本に持ち込むことではない。 3. 日本及び極東の安全と平和に寄与する米艦隊の一部であり、日米安保の建前からして他の軍艦と同様に寄港を認めるのが当然である。 ・社会党河上委員長はじめ 40 人の議員が、米原潜の寄港に反対して首相官邸に押しかけたが、池田首相は面会を拒否。 ・首相官邸と米大使館に抗議デモが相次ぐ。東大生 10 人、千代田平民共闘 100 人、社会党議員と労組員 100 人、全学連反主流派 100 人。 ・原子力潜水艦寄港に反対する原子力科学者署名連絡事務局、「アジアの核戦争の危険を増加させる」と表明。 ・佐世保で米原潜寄港阻止佐世保地区統一実行委の抗議集会。1000 人が参加。

08/29	・ 社会、総評は米原潜寄港阻止で緊急行動計画を長崎県評などに通達。 行動方針 1. 緊急事態にあたり党は先頭に立って行動を起こし、この闘争を池田内閣打倒の闘いに発展させる。 このため党組織は緊急行動体制をとって広く国民に訴える。 1. 政府の寄港承認対米回答と閣議決定の取り消しを要求し、国民的統一行動を組織する。 1. とくに佐世保、横須賀における行動を強化する。 1. 全国の原水禁運動が、この問題に全力をあげて取り組むよう要請する。 1. 国会における政府追及とあわせて、国会内外を結合させた行動をすすめる。 1. この闘争を安保闘争を引き継ぐ大行動にするため諸勢力が誠意をもって幅広い統一行動を実現するように訴える。 闘争方針 1. 全国代表者会議を9月3日党本部で開催、闘争計画を協議する。 1. 9月3日午後6時から日比谷野外音楽堂で原潜寄港阻止緊急抗議中央集会。1万5000人を動員し現地横須賀、佐世保の代表団も参加、科学者代表の報告、闘争宣言、国民へのアピールを発表する。 1. 9月5日から10日までを寄港反対緊急抗議全国統一週間として、全国一斉に抗議集会、緊急集会、街頭宣伝を行う。 1. 横須賀、佐世保に現地闘争本部を設置し、社会党、総評のオルグを常駐させるとともに、東日本、西日本からブロック別の支援体制をとる。 1. 9月27日横須賀、佐世保で寄港阻止の東日本、西日本大集会を開催、それぞれ5万人を動員して現地の阻止態勢を強化し、9月中の阻止闘争のヤマ場とする。 1. 9月7日原水禁全国実行委を東京で開き、原潜闘争に取り組む計画を協議する。
08/30	・ 日本原水協、原潜入港には小舟でピケをはるなど実力阻止を決定。
09/01	・ 長崎県評幹事会、米原潜寄港阻止闘争方針を決定。 1. 全国統一行動日の8日、佐世保で海上デモ。 2. 10日、各地区労ごとに寄港反対集会。 3. 8日から現地闘争本部を設置、150人を常駐させる。 4. 佐世保市2ヶ所に監視所を設け実力阻止に備える。 5. 27日に西日本大集会を行い、5万人を動員、基地ゲート前で座り込む。 6. 原潜入港が決定的となった時点で西日本でゼネストを決行する。
09/02	・ 政府はサブブロック(ロケット核機雷)を積載した原潜の寄港は事前協議の対象となるとの見解を発表。  ・ 社会党は声明を発表、米原潜寄港承認取り消しを要求。 1. 政府は2日の統一見解で差ブロックがもつばら核爆雷を使用するものであることを認めるにいたった。このことは我が党が従来、原子力潜水艦寄港を安全性の見地からだけでなく、戦略的見地から、また核兵器を日本に持ち込むものとして一貫して反対してきた正さを証明したものである。 1. もし政府がサブブロックが核兵器であるという事実をいままで知らなかったとすれば、まったく無責任であり、政府の原子力潜水艦寄港に関するこれまでの言明は、すべて信用できないことになる。 1. また、この事実を知って国民に真実を隠していたとすれば、国民を欺くものであって、政府の責任はまことに重大である。アメリカの原子力潜水艦がボラリス型かサブブロックを装備したスレッシャー型

	に限られることは、米の方針で疑う余地はない。 1. 事態がこのような明らかになった以上、先の寄港承認を直に取り消し、寄港は絶対に拒否すべきである。しかるに統一見解で事前協議の対象にするとして明確な態度を避けているのは、核兵器を装備した原子力潜水艦を全面的に受け入れる伏線で、許すことができない。
09/03	・日比谷野音で社会党、総評系原潜寄港反対緊急集会。1万2000人が参加。社青同と警官隊がもみ合い3人逮捕。 
09/06	・勝間田社会党政審会長「原潜が横須賀、佐世保に寄港すれば実力で阻止する」。
09/07	・総評緊急評議員会。原潜の寄港には安保闘争並みの反対闘争を行い、東京オリンピック開会式前後にも闘争を組み、外国人へのアピールを行う。
09/10	・須賀臨海公園で地元労組員ら6000人(横須賀署調べ)が原潜寄港反対集会。 ・佐世保で原潜寄港反対統一実行委が県内14カ所で2万人を動員、海上でも漁船など9隻を動員してデモ。
09/26	・社会党、佐世保で中央執行委員会開催。寄港阻止闘争方針を決める。 1. 10月10日から24日まで第3波の原潜寄港阻止統一行動期間として、10日には全国一斉に抗議集会とデモを繰り広げる。とくに東京都内では数カ所で大集会とデモをする。またオリンピックにきた外人に原潜の寄港と核武装を望んでいないという宣伝をする。 1. 第4波行動の期間は10月25日から11月10日とする。原潜はオリンピック期間から臨時国会までの期間に入港するおそれがあるので、これに対処し強力な抗議運動と態勢を組む。 1. 入港した場合は現地と東京で緊急抗議行動を展開する。 1. 3000万人署名運動と各県で自民党との公開討論会を要求、地方自治体における反対決議運動を進めるため、各民間団体に参加するよう呼びかける一方、共産党との共闘に努力していく。
09/27	・横須賀臨海公園で「原子力潜水艦寄港阻止東日本横須賀大集会」。1道1都22県から総評系労組員など5万人(主催者発表)が参加。全学連学生2000人が横須賀基地前でジグザグデモを繰り返し警官隊2000人と1時間にわたって衝突、横須賀市は混乱。学生1人逮捕、数十人が重軽傷。 ・佐世保港埠頭で西日本大集会。家族すれも含め4万人(主催者発表)が参加。漁船9隻も海上デモ。
10/07	・大阪、京都、兵庫、九州四学連と東大医学部、早大政経学部など19校、30自治会が「原子力潜水艦阻止学生連絡会議」を結成。
10/12	・日比谷公会堂で「浅沼追悼、原潜阻止、護憲国民集会」。労働者、婦人、宗教関係者ら1000人が参加。
10/14	・神奈川県警、9.27横須賀デモで社青同東京地本執行委員と都学連書記長を逮捕。
10/16	・日比谷野音で総評、中立労連系「原潜寄港阻止第3次統一行動中央集会」。7000人が参加。全学連、社青同1500人がジグザグデモで警官隊1300人と衝突。国労会館前で投石を行ったため学生9人が検挙される。
10/19	・清水谷公園で全学連主流派「原潜寄港阻止全国学生連絡会議」の集会。2600人が参加し日比谷公園までデモ。途中、ジグザグデモやフランスデモで機動隊1000人と衝突を繰り返し、11人が検挙される。

	 ・静岡市御幸通りで原潜寄港と日韓会談に反対する静岡大学生ら 250 人が警官隊ともみ合い、3 人検挙。 ・関西各大学の学生自治会で原潜寄港阻止の授業放棄。立命館大で京都府学連の集会。 ・第七管区海上保安本部長、原潜入港に対する妨害行動は排除すると表明。
10/23	・米原潜寄港阻止全国実行委幹事会。第 4 次全国統一行動を決定。 1. 11.7 東日本、11.8 西日本大集会を行う。 2. 入港が強行された場合は全国から緊急動員で現地と東京で激しい抗議行動を行う。 3. 入港 2 日目から基地に対するデモ、座り込みを行う。
10/24	・日本共産党幹部会。社会党、総評と共闘する用意があることを表明。
10/29	・米原潜シードラゴンが香港入港。 ・佐世保現地闘争本部、緊急動員準備指令。
10/31	・外務省、在日米大使館に「原子力潜水艦の受け入れ体制が整った」と連絡。 ・社会党中央執行委員会、原潜寄港について全国に緊急動員を指令。
11/02	・総評緊急単産代表者会議。6 日から全国で緊急行動に入ることを決定。
11/03	・横須賀市役所横の児童公園で原水協の 15 人が座ら込み開始。
11/04	・米海軍横須賀基地司令官「横須賀基地の原潜受け入れ準備は完了した。停泊は二三日になる。」と発言。
11/05	・日比谷野音で全学連原潜阻止連協集会。1000 人参加。許可コースを外れ外務署に向かおうとして機動隊と衝突。激しいデモを繰り返し 6 人検挙。 ・米國務省、「原潜日本寄港は 11 月下旬になる」と発言。
11/06	・米横須賀基地、全将兵の外出禁止、武装兵待機を開始。 ・総評各単産、原潜寄港に反対して各職場で集会。  ・神奈川県青年学生代表者会議、学生 1000 人を動員して横須賀市内をデモ。 ・横須賀臨海公園で日共系安保廃棄神奈川県民代表者会議が集会。8200 人が参加。 ・佐世保現地闘争本部集会。200 人がジクザグデモなどで警官隊と小競り合い ・湯川秀樹京大教授らが「原潜の寄港は原子力基本法に違反する」との反対声明。署名には 1215 人の科学者や学者が署名。
11/07	・横須賀臨海公園で昼夜二回にわたり原潜寄港阻止東日本大集会。2 万人の労働者らと全学連 3000 人が参加。全学連は横須賀基地正面ゲートから基地突入をはかり、武装警官隊 800 人と激突。機動隊はヘルメットに警棒を使用、学生側は投石などで対抗。「警棒の使用をやめろ」との指揮官の指示を無視して警官隊は女子学生も含めたデモ隊を乱打。殺気立った学生は夜の集会にも参加し、再びゲート突入をはかり、レンガ大の石を投げるなど、

	流血の混乱が続き、双方で 134 人が重軽傷、衝突現場近くの聖ヨゼフ病院にはタンカで続々と負傷者が運び込まれる。学生 34 人逮捕。  • 社会党県連会長ら 20 人が横須賀署に押しかけ警棒使用に抗議。 • 東日本大集会本部長、「警官側がはじめてから警棒を振り上げて学生に襲いかかった」と非難。
11/08	• 佐世保で社会党系佐世保現地闘争本部の西日本大集会。2 万人が参加。 • 共産党系も別会場に 3 万人を動員して集会。
11/10	• 社会党、総評系の佐世保現地闘争本部「全学連の参加は拒否しない」と表明。  • 樺光子(樺美智子さん母)さん、横須賀現地闘争本部と横須賀警備本部に流血回避を訴え。 • 日比谷野音で社会党、総評系の原潜寄港反対集会。2700 人参加。集会後のデモで社青同 80 人がツグザクデモを行い警官隊ともみあって 1 人検挙。
11/11	• 政府、「米海軍原子力潜水艦シードラゴンが 12 日午前 8 時、佐世保港に入港する」と発表 橋本官房長官談話 「放射能などについては科学技術庁、厚生省など関係省庁間で十分行っており、また離港後も厳密に放射能の調査をして国民のみなさんに安心してもらう措置をとる。各国の例を見ても不安がなく平静である。我が国においても入港を阻害するような行為が起こらないよう希望する。」  • 社会党、「入港阻止のため全力を挙げて闘う」と表明。 • 民社党も入港許可を取り消すよう政府に抗議。 • 佐世保現地闘争本部、緊急非常体制に入る。現地オルグは全員ヤッケにヘルメットの乱闘スタイル。  

・日比谷野音で総評、中立労連系の緊急集会。1 万人(警視庁発表)が参加。全学連 1200 人、社青同 200 人がジグザグデモで国会に押しかけ、共産党系の全学連反主流派も合流して国会前で座り込み。
機動隊がごぼう抜きを行ったため、衝突。学生、機動隊双方で数十人が負傷、8 人逮捕。



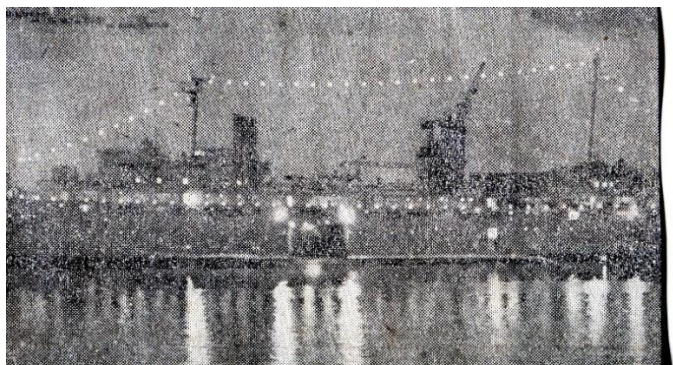
- ・佐世保で右翼団体が主催した「原潜歓迎集会」に 400 人参加。
- ・日本共産党、社会党、総評に「全民主勢力は団結して原潜の入港を阻止すべき」として共闘を申し入れ。
- ・警察庁、福岡、熊本、佐賀三県警から 2000 人の警官を動員して佐世保に派遣。

11/12

・米海軍原子力潜水艦シードラゴン、佐世保港に入港。
・佐世保港では打ち上げ花火で原潜入港を知らせ、現地闘争本部が動員した 1500 人がヘルメット、ヤッケ姿で基地側の平瀬町ロータリーで座り込み。全学連 300 人が警官隊と再三にわたって衝突。15 人が逮捕される。
デモ隊と警官隊との衝突で樺崎社会党代議士が負傷。

- ・佐世保警備本部調べ

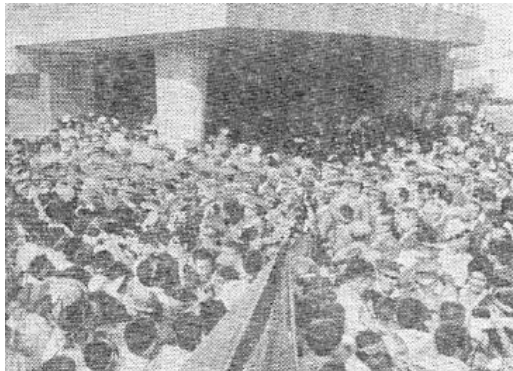
九学連 127、岡山大 30、広島大 4、京都府学連 80、大阪府学連 90、京大 40、関大 16、
熊本大 10、社会党系 3500、共産党系 1000。

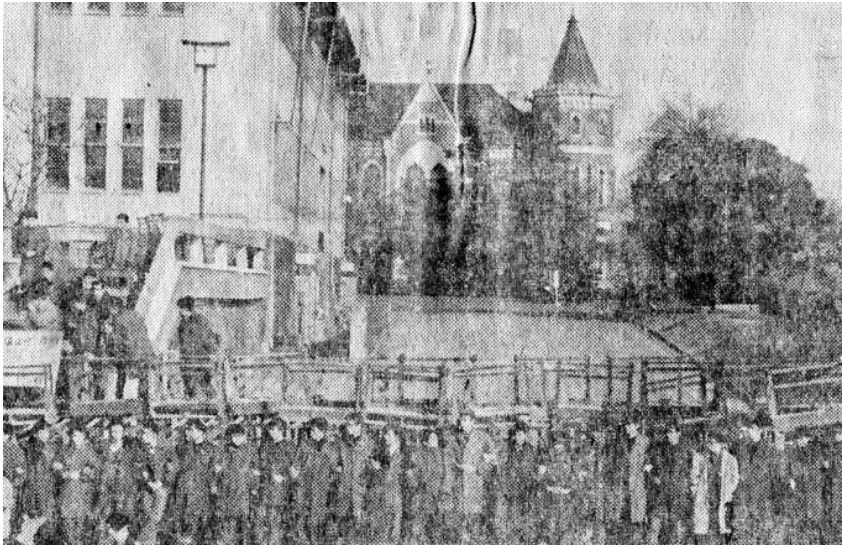


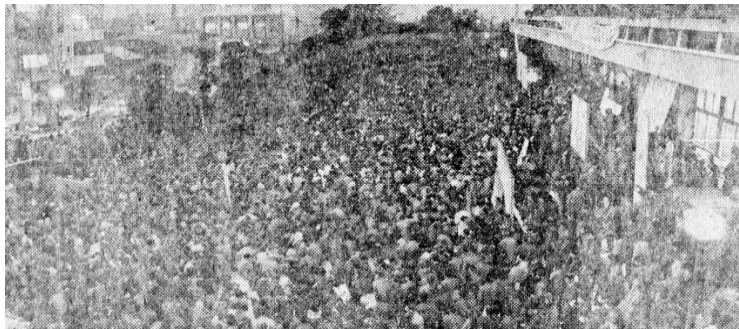
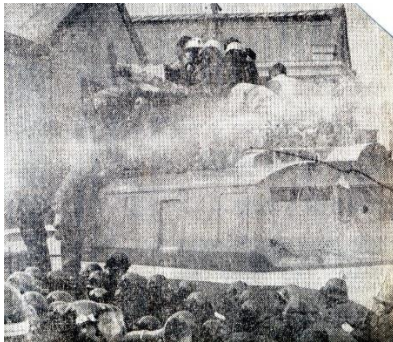
・日比谷野音で全学連が「原潜佐世保入港抗議緊急集会」。1700 人が参加。警視庁は警官隊 2500 人を動員。
投石と放水を交えて激しく衝突。双方で数十人が負傷、3 人逮捕。



- ・日共、平和委員会の日比谷野音に 1 万人を集めて緊急中央集会。
- ・静岡大文理、教育学部学生 100 人が学内集会後に無届の街頭デモ。

	・神奈川県警、総評に対し「全学連を集会に参加させないよう」要望。
11/13	・佐世保総合会館で社会党系現地闘争本部の集会。2000 人が参加。前日の佐世保警察署長の「市民は止められない」との発言を受け、腕章、鉢巻きほ外して基地前に集まり、警官隊と衝突。機動隊が強力に圧力をかけ、檜崎社会党代議士逮捕。 ・横須賀児童公園に座り込んでいた革新団体の 100 人が東京に向け徒歩行進開始。 ・清水谷公園で平民学連 3500 人が集会とデモ。 ・反代々木系全学連も三河台公園で集会ご、シクザグデモで警官隊と小競り合い。
11/15	・日比谷野音で原水協主催の原潜寄港反対集会。1 万 2500 人が参加。国会に請願。
12/12	・社会党・総評系佐世保現地闘争本部は原潜再入港に備え見張りを再開。
12/13	・平民学連、法政大で全学連再建を宣言。学生 1800 人が新橋までデモ。
12/29	・沖縄立法院の首席指名議会、民主団体 3000 人が立法院内外を占拠し実力阻止。 

1965	
01/10	・大内兵衛東大名誉教授、末川博立命館大総長、住谷悦治同志社大総長ら 10 人が原潜寄港で声明。 米原子力潜水艦の日本寄港は国民の生活と生命の安全を脅かすもので、我が国を核戦略体制に組み入れようとするいかなる構想にも強く反対する。
01/18	・統合記念公園で反日共系都学連「日韓会談粉碎統一行動」、400 人が参加。集会後のデモで警官隊と小競り合い。1 人逮捕。
01/22	・慶応大学全塾自治会が学費値上げ反対でスト。 
01/23	・慶大で学生 1000 人が学費値上げ抗議集会。
01/28	・慶大学費値上げ反対闘争委員会は正門、裏門に机でバリケードを築きピケ、全学ストに突入。 
02/01	・駐日米大使館、原潜シードラゴンが 2 日、佐世保に入港すると通告。 ・現地闘争本部、緊急動員体制に入る。 ・夕刻から 4000 人が参加して抗議集会。 ・社会党・総評系の現地闘争本部と共産党系の現地闘争本部が共闘体制で一致。 ・警察庁、佐世保現地に福岡などから警官 2300 人を増派。
02/02	・米原潜シードラゴン、佐世保港に入港。 ・佐世保で社共共闘の抗議集会、1000 人が参加。 ・日比谷野音に反日共系全学連の 270 人が集まり、無届集会とデモ。 ・慶大で全塾生大会。8500 人が参加し決議案採択。 1. 4 日から再び授業放棄に突入、学期末試験延期に対しては同盟休校で応じる。 2. 8 日から 4 年生の学期末試験をボイコットする。

	
02/03	・社共佐世保現地闘争本部が共闘で佐世保現地集会。1 万人が参加。
02/04	・佐世保松浦公園で社共共闘による集会。1200 人が参加。
02/05	・米原潜シードラゴンが佐世保港出港。 ・慶大全塾生大会。大学側が学生自治会との間で妥協案を取り交わしたことを表明。スト派と慎重派が激しい議論をした結果、実行使反対 4313 票、スト賛成 1851 票でスト解除。 
02/10	・日比谷野音で社会党・総評系の「日韓会談反対、原潜寄港阻止中央集会」。2200 人が参加。反日共系全学連、社青同 450 人が国会に向かおうとして機動隊と衝突。西幸門付近で乱闘となり、警官 30 人が負傷、学生も多数が負傷、4 人逮捕。学生らは有楽町駅に座り込み集会、機動隊は手出しできず。 
02/17	・椎名外相訪韓阻止で反日共系全学連 560 人が羽田デモ。学生は穴守橋の警官隊のピケを突破。警察車両を奪取したり、投石などで激しく対抗し 130 人が重軽傷、39 人逮捕。 
03/19	・横浜駅西口で原潜寄港反対闘争で逮捕された学生の支援者 50 人がカンパ活動をしていたところ、警察官が学生 6 人を拘束したことから、市民ら 3000 人が西口発出所を包囲、機動隊が規制に入りさらに 8 人の学生、市民を逮捕。学生 60 人はこれに抗議して戸塚署に押しかける。

04/24	・清水谷公園でベトナムに平和を求める文化団体などが集会。学生や主婦など 600 人が参加。小田実らが挨拶。 ・川崎市民会館で末川博立命館大総長らが呼びかけて「アジアの平和のための日本大会」。全国から 5000 人が参加。
04/26	・日比谷野音で総評、中立労連、社会党などが「アメリカのベトナム侵略に抗議する国民総決起集会」。昼の部は 2 万人、夜の部に 2 万 5000 人が参加。全学連と社青同 1000 人が各所でジグザグデモを繰り返し機動隊と衝突。夜に入って学生を先頭にデモ隊がアメリカ大使館に殺到し、雨の中で 4000 人の機動隊と衝突。新橋、銀座、赤坂の交通はマヒ。学生ら 25 人が検挙される。 ・川崎で「アジアの平和のための日本大会」参加者 4000 人が市内デモ。
05/01	・第 36 回(戦後 20 年目)メーデー。代々木旧オリンピック選手村跡地に 60 万人が参加。ベトナム反戦を強調。
05/14	・長崎大学で学生会館管理運営をめぐり学生 200 人が学長らを軟禁。武装警官隊 120 人が要請を受けて出動、入り口にバリケードを築いてピケをはった学生を実力で排除。学生 40 人以上が負傷。

	
05/19	・中野好夫、日高六郎、野上茂吉郎、阿部知二ら学者、文化人が「6月9日をベトナム反戦の日にする」ことを発表。 ・自由法曹団、AA 連帯委員会などがベトナム人民支援委員会中央センター結成。
05/20	・静岡大で学生 1360 人がアメリカのベトナム侵略に反対して授業放棄。
05/24	・米国、原潜の三回目の佐世保寄港を通告。 ・社会党の現地闘争本部、佐世保で緊急抗議集会。1000 人が参加。 ・総評が原潜の佐世保寄港に対して抗議声明。 いまやベトナム戦争は国際戦の様相となり、熱核世界大戦の危機は日を追って増大している。政府、自民党が今回三度目の原潜寄港を許したことは、日米軍事協力を強め、日本国民を戦争に巻き込もうとするものである。我々は全世界の労働者階級とともに反戦、平和のために断固闘うことを生命する。
05/25	・米原潜スヌックが佐世保入港。 ・社会党、総評系の現地闘争本部が抗議集会。ヘルメット、ヤッケ姿の労働者 250 人が参加。
06/09	・日比谷野音を中心に「ベトナム反戦集会」。労働者、学生など 3 万人以上が参加して今年最大の集会デモとなる。 ・全学連は独自に「ベトナム侵略戦争反対青年学生中央集会」を開き 2500 人が参加。集会後のデモで各所で座り込み、ジグザグデモを行い警官隊ともみ合い、13 人が検挙される。 ・芝公園では日本平和委員会主催の集会。1 万 2000 人が参加。日共系全学連も 4000 人を動員してデモ。 ・一橋大で寮費の値上げやベトナム戦争などに反対して学生 500 人が授業放棄。
06/15	・日比谷公園で「樺美智子追悼中央集会」。学生、労組員など 670 人が参加。集会場で日米韓国旗を燃やそうとした 1 人とデモでジグザグデモを指揮した 4 人が逮捕。デモ後、九段会館で国会乱入事件の記念集会。2000 人が参加。
06/19	・社会、共産、日朝協会、日中友好協会など 32 団体が「日韓会談の緊急事態に対する共同声明」を発表。
06/21	・信州大文理学部日韓会談粉碎闘争委員会学生 300 人が松本市内デモ。25 人が信州大正門前でハンストに入る。
06/22	・日韓条約・協定調印。  ・芝公園で反日共系全学連が日韓条約調印に反対して集会。ヘルメット部隊を先頭に日比谷公園までデモ。途中、各所でジグザグデモを展開して機動隊と衝突。 ・夜に入り、学生は首相官邸に向けて無届デモ。機動隊は青ヘルメット、乱闘服で武装、警棒を使用して学生と乱闘となる。学生は敷石をはがして投石で対抗、1 時間以上にわたり桜田門、祝田門周辺は大混乱となる。この混乱で 18 名が逮捕される。

- 日共系全学連 3000 人も日比谷公園で集会のあとデモ。夕刻から日共系団体の集会とデモ。1 万人が参加。



- 07/14 • 警察庁、ベトナム反戦と日韓条約反対闘争に万全体制をとるよう指示。

- 07/30 • 社会党、ベトナム戦争反対、日韓条約批准阻止のため「反戦青年委員会」を結成。

- 08/19 • 佐藤首相訪問の沖縄で祖国復帰要求県民大会。1 万人が参加。宿泊場所のホテルを包囲して座り込み、首相は宿舎に戻れず米軍迎賓館に宿泊。デモ隊は徹夜で警官隊と衝突し負傷者、逮捕者を出す。



- 08/23 • 米原港、四度目の佐世保入港を通告。
 • 社会党、総評は原港寄港に対して全国統一行動を緊急手配。
 • 共産党系現地闘争本部は緊急の抗議集会。
 • 高崎経済大学私学化に反対する学生 300 人が総決起集会後、高崎市議会の廊下や階段に翌日まで座り込み。

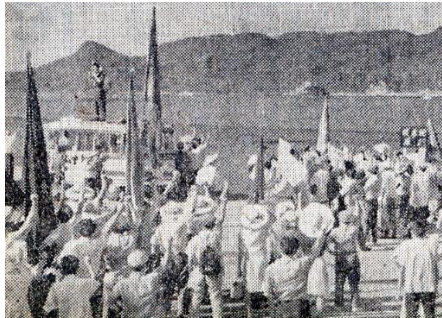


08/24

・米原港パーミット佐世保入港。



・社会党、総評系現地闘争本部が抗議集会。ヘルメット、ヤッケ姿の労組員 700 を中心に市民が参加。

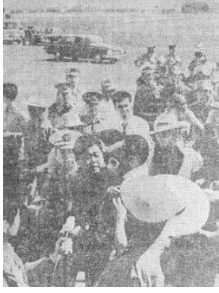
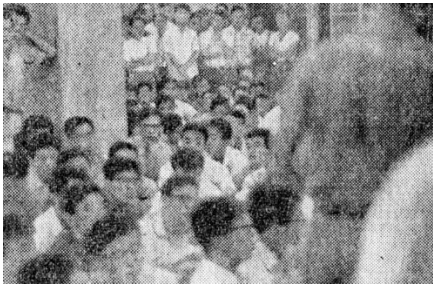


・私学移転に反対して高崎経済大学生 400 人が市庁舎議事場を占拠。一時はイス、机などでバリケードを築いて私学化案上程を阻止。

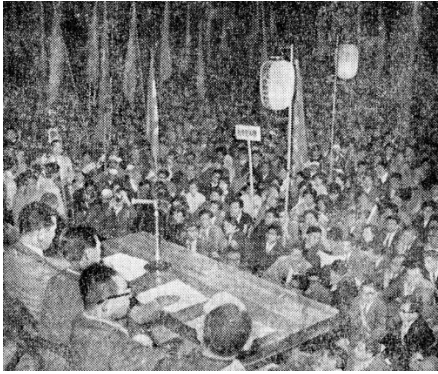
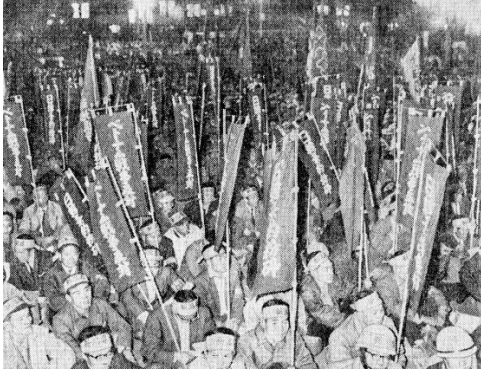


08/25

・板付基地で米軍戦略機の飛来に抗議して社会党、総評の 20 人が基地内を横切っている県道に竹竿よう木杵を設置して飛行妨害行為。博多署の警官隊 120 人が実力行使を行い、社会党福岡県本部国民運動部長ら 3 人を逮捕。

	
08/26	・佐世保で社共共闘の「ベトナム侵略戦争反対、原潜寄港に抗議する佐世保大集会」。4000 人が参加。 ・日比谷野音で社会党、総評で原潜寄港に抗議する中央集会。4000 人が参加。社会党成田書記長を先頭にデモ。 
08/31	・学長選挙の高崎経済大教授会に学生 500 人が押し掛け缶詰状態。教授会は「学生の意見も聞く」として事態を収拾。 
09.12	・東京晴美ふ頭で日共系労働者と学生 5 万 8000 人(警視庁調べ) 日韓条約の批准反対、ベトナム戦争反対の中央集会。安保以来の動員となる。 
09/20	・社会党日韓条約批准阻止闘争本部、批准阻止闘争のスケジュール決定。
09/21	・公立維持となった高崎経済大学の授業料値上げをめぐって学生 600 人が高崎市庁舎に押しかけ、市職員と衝突。双方で 5 人が負傷。380 人の警官隊が市庁舎内の学生を排除しようとして衝突。さらに双方に 20 人以上

	の負傷者を出す。市議会は授業料値上げを可決。
09/30	・社会党中執、佐藤内閣打倒の方針を決定。 ・長野県議会、日韓条約批准促進を決議。 ・京都府議会は批准反対を決議。
10/05	・日韓条約批准国会開会。 ・警視庁は総合警備本部設置。機動隊など 4000 人を動員。 ・芝公園で都学連 1700 人が全都学生集会。虎ノ門交差点で激しい渦巻デモを行い警官隊と衝突。13 人検挙。 ・社青同主催日韓条約反対デモ。都学連のデモ隊 800 人も合流して 1500 人が参加。衆議院面会所前に座り込み、警官隊と衝突。11 人検挙。都学連中執委員が警察の広報車に右足を轢かれる。 ・日比谷公園で日共系全学連 4600 人が集会とデモ。 ・安保廃棄千代田、中央区実行委員会も日比谷野音に 7500 人を集めてデモ。
10/10	・社会党、総評、中立労連等で作る「日韓粉砕全国実行委員会」闘争方針を決定。 1. 10 月 22 日から月末までを闘争旬間とし 11 月 7 日から 10 日頃にすべての勢力を結集する全国統一行動を行う。 2. この日以降、連日 1 万人以上の国会デモの体制をつくる。 3. 条約採決が予想される 11 月 20 日頃、安保闘争を上回る全国統一行動を行う。
10/12	・明治公園で「日韓条約粉砕、ベトナム侵略反対、浅沼追悼全国統一中央集会」10 万 5000 人が参加。集会後、国会請願デモ。デモ隊は各所でグググデモを繰り返し、先頭に飛び出した反日共系全学連 1300 人は参議院正門前で座り込み。排除しようとした機動隊にガラスの破片などを投げ抵抗。19 人検挙。 ・日比谷野音で社会党主催の「浅沼追悼、日韓条約粉砕、ベトナム反戦中央集会」地方代表 5000 人を含め 1 万人が参加。

	  ・早大で評論家松岡洋子氏に主催のティーチイン。2500 人が参加。 ・日本共産党、青年会館で集会。1000 人参加。
10/13	・社会党緊急中央執行委員会、「警察が国会請願に不当に弾圧を加えた」と政府に抗議。 ・日比谷野音で民主青年同盟、全学連などが全都青年、学生総決起大会。5500 人参加。
10/15	・中立労連、社共共闘に不参加を決定。傘下 18 単産 90 万人の自由意思に任せる。 ・清水谷公園で反日共系都学連の「全都学生総決起大会」。1400 人が参加。日比谷公園に向かいジグザグデモを行って機動隊と衝突、投石などでわたりあい、学生 6 人逮捕。 ・夕刻から日比谷野音で反戦青年委員会が「全国青年学生総決起大会」。8500 人が参加。作家の開高健氏らが挨拶。その後、国会請願デモを行い、都学連など全員が参議院第二通用門付近に座り込み。機動隊 3000 人が警備にあたる。   ・慶応大学で日韓、ベトナム問題をめぐる「全都学生ティーチイン」。530 人が入る教室は満員で入場できない学生も多数。木下半治明大教授、鶴見良行思想の科学代表らが発言。
10/19	・中立労連傘下の 15 単産が「日韓条約粉碎、ベトナム侵略反対中立労働組合共闘会議」を結成。社会党、総評系の全国実行委員会と共闘することを決定。
10/20	・総評、婦人団体などの「物価値上げ反対中央共闘会議」の主婦ら 3000 人がエプロン姿などで首相官邸へデモ。
10/27	・国労中央委員会、日韓条約が批准されたら時限ストを行うなどの闘争方針を決定。
10/29	・日韓条約批准反対全国学生統一行動。 ・日比谷野音で都学連 3200 人が集会。学生の一部はヘルメットにヤッケ姿の乱闘服。デモでは大蔵省裏で装甲車で通行を遮断する機動隊と対峙。座り込みやジグザグデモを繰り返し 2000 人の機動隊と激しく衝突。学生の投石や機動隊員が渦巻デモに巻き込まれるなど混乱。双方で 10 人以上が負傷。 ・全国 45 か所で 1 万 600 人が参加し、29 人が逮捕される。
10/30	・日比谷野音で社会党、総評系の全国実行委主催の集会。5000 人が参加。
11/01	・衆議院日韓特別委員会で自民党が参考人招致を抜き打ちで強行可決。



・総評・中立労連は緊急全単産委員長会議。

1. 6日から14日まで連日3万人以上の動員を行う。

2. 8、9、13日は10万人以上を動員する。

3. 13日に全単産が抗議ストを行う。

11/05

・衆参両院議長、5日から8日まで連日500人ずつの警官隊の院内派遣を要請。

・日比谷野音で東京都反戦青年委が緊急集会。予想を超える1万7000人が参加。

会場は歓声と拍手が入り乱れ熱気に包まれる。集会後、デモ隊は警官隊と衝突を繰り返しながら衆議院面会所から国会内突入をはかり、警官隊が阻止すると全員が座り込み。反日共系全学連は再三にわたり国会構内突入を試みて警官隊と乱闘。警察広報車が破壊されるなど遅くまで混乱。38人が検挙される。

・共産党も緊急動員をかけ1500人が日比谷から国会へデモ。途中、警官隊ともみ合い2人が検挙される。



11/06

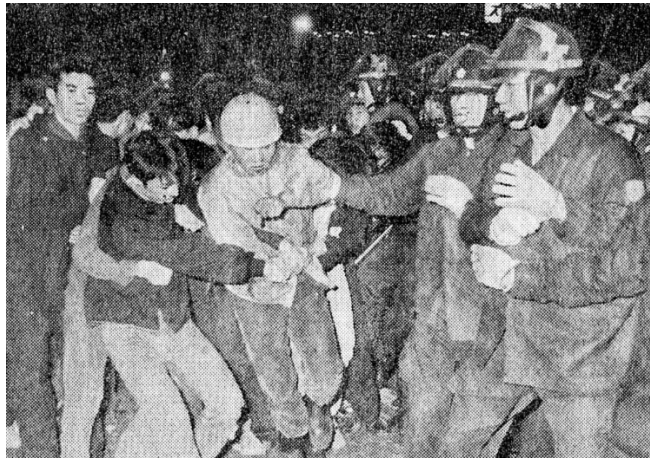
・衆議院日韓特別委員会で自民党が審議を打ち切り、野党議員の猛抗議のなかで日韓条約を強行可決。

・総評幹事会。日韓条約の強行採決に「全国の職場と地域で非常事態を宣言し、院外の大衆的力を総結集して闘う」との抗議声明。

・日比谷、清水谷、明治公園から国会へ抗議デモ。12万5000人が参加。反日共系全学連1500人は昼夜にわたって国会突入をめざし警官隊と激突。

・警視庁は院内に1000人、院外に6000人の警官隊を配備、装甲車などでバリケードを築いたが、一時、警官数十人が渦巻デモに巻き込まれ、殴るけるの暴行を受ける。救助に乗り入れた装甲車も学生に一時占拠され、屋根に上った学生がインターを歌うなど、国会周辺は大混乱となる。

この日のデモでデモ隊、警官隊双方に100人を超す重軽傷者が出、40人が検挙される。



・社会党佐々木委員長ら議員 70 人が佐藤首相私邸に押しかけたが面会を拒絶される。



11/07

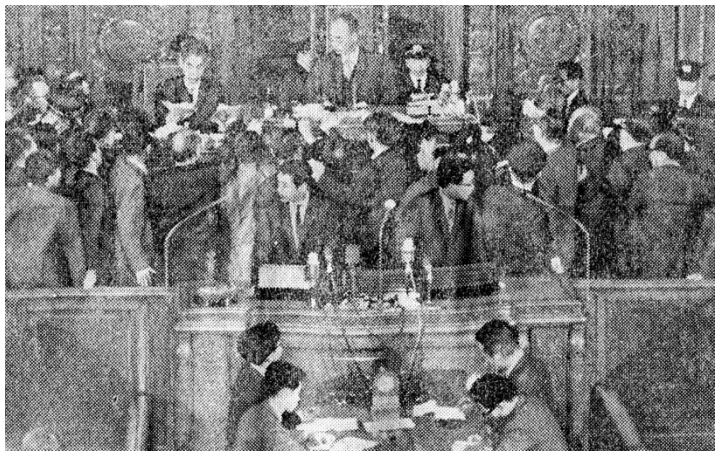
・日比谷野音で総評系の抗議集会に 4000 人が参加。フランスデモやゾグザクデモで機動隊と衝突。警官がデモに巻き込まれたことから乱闘状態となり、7 人が検挙される。



・日共系労組 4000 人も朝から国会に陳情デモ。

11/09

・日韓条約関係案件の上程を巡って衆議院本会議が徹夜。

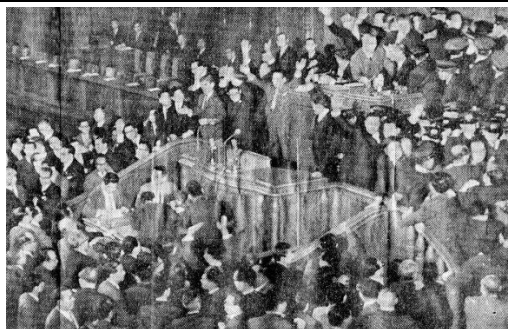


・明治公園で「日韓条約粉碎国民統一行動中央集会」。参加した反代々木系学生と社青同労組員 4700 人が赤坂署前で警官隊と衝突。警官 9 人とデモ隊多数が負傷。学生 50 人と労組員 2 人逮捕。

・全国 329 ヶ所で集会・デモ。右翼 12 人を含む全国で 75 人逮捕。



	 ・日韓条約批准に反対して 10 人の学者、文化人が船田衆議院議長に反対署名を手渡す。 日高六郎、小林直樹、家永三郎、岡本太郎、木下順二、大江健三郎、吉野源三郎、寺沢一、旗田魏
11/10	 ・国労、日韓条約に反対して 12 日夜から時限ストに入ることを表明。 全国主要幹線で運転部門を対象に 11.2 ヶ所で 1 時間の時限スト。 東京地本では東京、品川、上野、横浜、八王子で早朝から 2 時間のスト。 東京駅に組合員 13000 人を含め 10 万人を動員する。 ・交通共闘会議、日韓条約反対 4.13 闘争方針。 動力車 北海道などの拠点で 30 分の時限スト。 私鉄 各単組が勤務時間に 1 時間以上食い込む職場集会。 都市交 都電、都バスの減車闘争や職場集会。 その他 全自交、全自運は 1.2 時間の時限スト。全港湾は時間外労働拒否。
11/11	・日比谷野音で社会党・総評系の日韓条約批准反対集会。労組など 1 万 6000 人、反日共系全学連 1200 人が参加。国会周辺で機動隊の規制を受けたが、東京駅八重洲口前を占拠。機動隊にイスや石を投げつけ激しく抵抗。31 人逮捕。 ・夜の反戦青年委員会 600 人のデモも通産省脇で機動隊と衝突。 
11/12	・自民党、衆議院本会議で日韓条約案件を強行採決。抗議する社会党議員が壇上に詰め寄り混乱。



- 労組は日韓ストに突入
- 夕刻から東京駅に労組員 35000 人、日共系学生 3000 人、反日共系学生 1400 人が出入り口や構内を占拠。品川機関区でも労組員 1000 人が線路上でジグザグデモを行い機関車の出発を阻止。



- 愛知県豊橋駅で労組員など 14000 が徹夜。機動隊や鉄道公安職員と衝突。16 人が負傷。2 人逮捕。



11/13	• 日韓問題研究懇談会声明。教授、助教授、講師 213 名が参加。 1. 多くの問題について両国政府の解釈に違いがある。 2. 将来、日韓が軍事協力にふみだす基礎になる。 3. 南北の分裂を固定化させ軍事対立を激化させるおそれがある。 4. 将来、北朝鮮との国交回復の妨げになる。 • 社共共闘で「日韓条約反対国民統一行動中央抗議集会」。明治公園に昼の部 35000 人、夜の部 6 万人が参加。反代々木系学生 5 人、労組員 3 人逮捕。
11/15	• 総評緊急評議員会 1. 15 日から全国的な大衆動員、人海戦術によって 4000 万人署名運動を展開し、憲法を守る会などを結成して運動の地域的定着をはかる。 2. 秋闘第三次統一行動期間を 26 日から 10 日間とする。この期間、日韓、ベトナム反戦を統一目標として可能なかぎり斗争性を決行する。 3. 19 日に 10 万人動員、26 日と 12 月 9 日に 20 万人を動員する。
11/16	• 警視庁、11.11 東京駅のデモでアナーキストグループの東京行動戦線が薬品入りピンを投げたとして 4 人を逮捕。

11/17	• 全国憲法研究会（憲法学者の集まり）、日韓条約強行採決は議会民主主義をふみにじる暴挙であると声明。
11/27	• 日韓問題科学者集会。26 大学 1387 人の署名を集める。
11/28	• 早大全共闘 1200 人、早大から日比谷公園へデモ。機動隊と各所で衝突。9 人負傷。5 人逮捕。 • 清水谷公園で、医学連がインターン制度完全廃止を求めて集会とデモ。950 人が参加。厚生省前で座り込み。1 人逮捕。
12/11	• 早大全学共闘会議は第二学生会館の管理運営をめじって 500 人が抗議集会。本部玄関などにバリケードを築いて座り込んだため 200 人の武装警官隊を導入。激しく衝突し大口昭彦全共闘議長を逮捕。 